







局長	所長	管理課	整備室
		 	  

平成 30 年 7 月 30 日

## 復命書

名古屋市長 河村たかし 様

名古屋城総合事務所  
所長 西野輝一

下記のとおり出張しましたので、報告いたします。

### 記

- 1 日 時 平成 30 年 7 月 26 日 (水)
- 2 用 務 「平成 31 年度国の施策及び予算に関する重要事項の提案」  
における市長随行
- 3 出張先 文部科学省 文化庁 (東京都千代田区霞が関 3-2-2)
- 4 内 容 別紙のとおり

市長国家提案【文化庁】＜平成 30 年 7 月 26 日(木)＞面会記録

●面会記録（文化財部長、記念物課長）

・予算要望について、

・天守閣木造復元については、石垣部会とよく話し合っ  
て結論を出すよう  
に言われている

・上に天守閣を残したままでは危ない。IS 値 0.14 とあまりにも低い。

・下で調整することも危ない。

・バリアフリーの技術について、障害者団体にも説明している。来年度には実際の階段の模型で実験する施設を設ける。

文化庁としては従来よりできる限りサポートしており、今後も引き続きサポートしていく。

以 上

平成31年度国の施策及び予算に関する重点事項の提案

# 名古屋城（名城公園）の整備

平成30年7月

名古屋市

## 名古屋城（名城公園）の整備

### 【提案内容】

#### (1) 天守閣の木造復元

- ・天守閣の木造復元等に対し財政支援など必要な措置を講ずること。

#### (2) 名古屋城の文化財の保存活用等

- ・名勝二之丸庭園や石垣の整備等、文化財の保存活用及び本丸御殿における復元模写された障壁画の表具工事に対し必要な財政措置を講ずること。

#### <提案の背景>

本市では、尾張名古屋のシンボルである名古屋城の歴史的・文化的な価値と魅力を向上させるべく、天守閣の木造復元や文化財の保存活用などに取り組んでいる。また、歴史文化の発信・にぎわいの創出等に資する金シャチ横丁を平成30年3月に開業し、引き続き第二期整備計画の策定を進めているところである。

#### (天守閣の木造復元)

天守閣は昭和5年に城郭建築として旧国宝第1号に指定されたが、昭和20年の戦災により焼失した。昭和34年に再建された現在の天守閣は再建から半世紀が経過し、耐震性の確保も課題となっていることから、昭和実測図等の詳細な資料に基づき、史実に忠実に木造での復元を行う必要がある。

#### (名古屋城の文化財の保存活用等)

特別史跡である名古屋城跡の価値や魅力を高め、後世に継承していくために、特別史跡名古屋城跡保存活用計画に基づき、名勝二之丸庭園や石垣の整備、二之丸地区の整備基本調査、障壁画の保存修理及び本丸御殿における復元模写された障壁画の表具工事を着実に進め、城内に残る文化財の保存活用等に一層努めていく必要がある。

## 名古屋城の整備の現状

### 名勝二之丸庭園の保存整備

提案先：文化庁

事業の種類：歴史活き活き！史跡等総合活用整備

工期：平成 25 年度～

現状：保存管理計画（平成 24 年度策定）に基づき、保存整備中



### 二之丸地区の整備基本調査

提案先：文化庁

事業の種類：遺跡発掘調査

工期：平成 30 年度～

現状：整備構想策定に向けた発掘調査を実施中

### 天守閣の木造復元

提案先：国土交通省

事業の種類：天守閣の木造復元

工期：平成 29～34 年度

現状：設計中



### 石垣の整備

提案先：文化庁

事業の種類：歴史活き活き！史跡等総合活用整備

工期：昭和 45 年度～

現状：搦手馬出の石垣を修理中



### 本丸御殿復元模写障壁面の表具工事

提案先：国土交通省

事業の種類：社会資本整備総合交付金事業

工期：平成 24～41 年度

現状：本丸御殿復元模写制作事業継続に伴い、完成した復元模写を本丸御殿に貼り込む表具工事を実施中

### 本丸御殿障壁面保存修理

提案先：文化庁

事業の種類：美術工芸品の保存修理等

事業期間：昭和 61 年度～

現状：天井板絵の保存修理を実施中

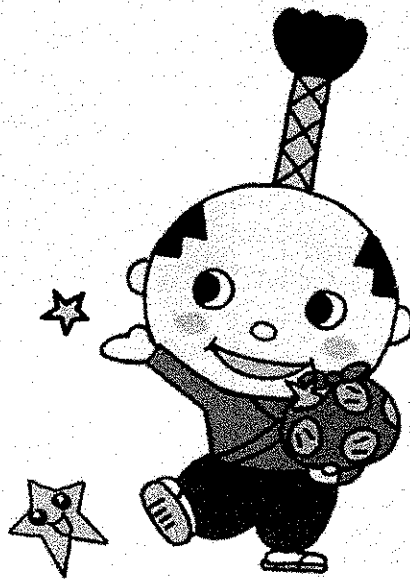
応援します



フェアトレードタウン  
なごや



名古屋城  
本丸御殿  
完成公開  
2018/6/8  
THE NAGOYA CASTLE  
HOMMARU PALACE



古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

# 歴史をつなぐ 文化をつなぐ 名古屋城の整備状況

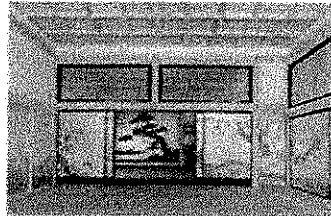
名古屋城は多くの重要文化財や、名勝二之丸庭園、天然記念物のカヤなどを有し、特別史跡に指定されています。これらの文化財を後世に引き継ぐとともに、さらなる魅力向上を図るために、様々な整備・修復を行っています。

## 1 本丸御殿の復元

平成21年から復元工事に着手。平成25年度に玄関・表書院、平成28年度に対面所・下御膳場、平成30年度に上洛殿・湯殿書院等を公開しました。引き続き障壁面の復元模写の制作(表具含む)を行っています。



玄関の外観



表書院一之間から上段之間を見る

## 2 名勝二之丸庭園の保存整備

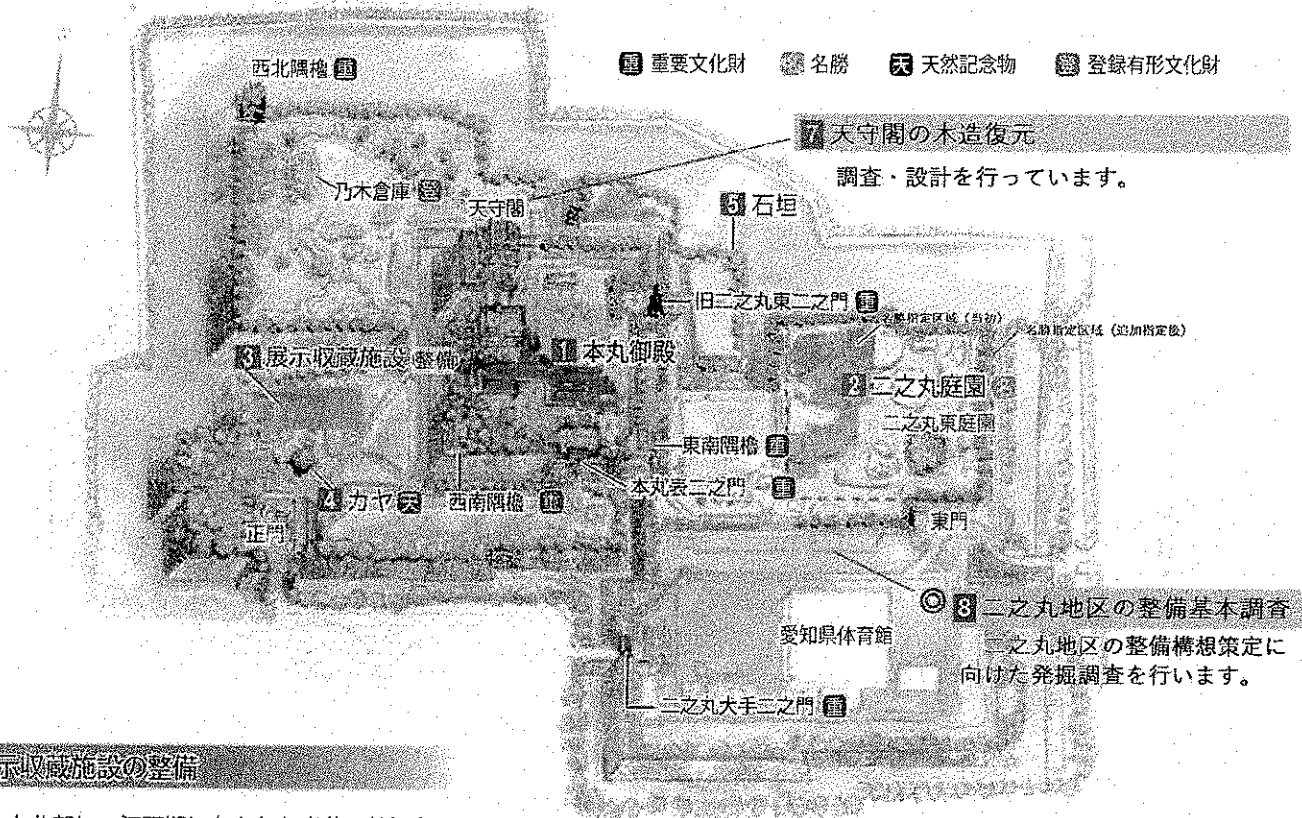
平成24年度に保存管理や整備の方針を定めた「保存管理計画」を策定し、この計画に基づき、順次修復整を行って行っています。



二之丸庭園発掘現場



石垣



## 3 展示収納施設の整備

西之丸北部に、江戸期に存在した米蔵の外観を再現した展示収納施設を整備し、1,047 面ある重要文化財本丸御殿障壁面等を公開していく予定です。

## 4 天然記念物 カヤの保全



推定樹齢600年以上で、昭和20年の空襲を浴びながらも命脈を保ちましたが、衰弱が進んだため、樹勢を回復させるなどの保全に取り組んでいます。

## 5 石垣の修復



崩壊・はらみ出し部分の修復を昭和45年度から継続的に行っており、現在は本丸搦手馬出の修復を行っています。文化財調査も並行して行い、石垣を積み上げる伝統技術や石垣のはらみ出しの原因解明も目的としています。

## 6 重要文化財本丸御殿障壁面の修理



狩野派の絵師により描かれた重要文化財障壁面について、絵具の剥落や下地の傷みの修理を継続して行っています。